



健康社会学研究会

# ニューズレター No.92/93

発行：健康社会学研究会

事務局：〒157-8565 東京都世田谷区北烏山 8-19-1 日本女子体育大学 助友裕子研究室内

(担当：助友裕子、細川佳能)

TEL/FAX 03-3300-3216 E-mail: healpro.info@gmail.com

ニューズレター NO.92&93/2021年3月

## 第129回定例会のご案内

テーマ：「支援課題の共有化」に関する概念分析

話題提供者：森川 洋（帝京平成大学現代ライフ学部）

【日時】：2021年3月27日(土) 17:00～19:00（16時30分より接続可能）

【方法】：オンライン会議システム Zoom

（当日は下記QRコードまたは、URLよりご参加いただけます。）

【参加費】：無料

【開催内容】：

17時00分～17時10分

・Chat de コンニチハ（アイスブレイク）

17時10分～18時10分

・「支援課題の共有化」に関する概念分析

18時10分～19時00分

・オンライン情報交換会（リモ飲み）

※ドリンクは各自ご用意ください。

【参加情報】：

トピック：3/27 健康社会学研究会 第129回定例会

参加URL：<https://us04web.zoom.us/j/78567181023?pwd=L3pLL3NxMFZhSFZYVE9PVnhudlpuUT09>

ミーティングID：785 6718 1023

パスコード：healso

皆様のご参加心よりお待ちしております！

定例会参加用QRコード



## 令和2年度総会報告

書面表決にて令和2年度総会を開催し、全ての議案について原案どおり承認されましたので、ご報告いたします。

第1号議案 令和元年度事業報告

第2号議案 令和元年度決算報告

第3号議案 代表の選出

第4号議案 令和2年度事業計画（案）

第5号議案 令和2年度予算（案）

第6号議案 規約の一部改正

健康社会学研究会 前代表 松岡正純

## 代表挨拶

会員の皆様におかれましては、昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための様々な取組にご尽力されていることと存じます。ご存じの通り、昨年春前より新型コロナウイルス感染症が蔓延し、本研究会も思うような活動ができず、会員の皆様にはお詫び申し上げます。

そのような中、本年度総会をもって、松岡前代表よりバトンを受け取りました。今年度より代表を務めます森川洋と申します。

1979年の本研究会発足以降、島内憲夫初代代表、小山修前々代表、松岡正純前代表へと引き継がれてきたことを継承しつつ、これから代表として行っていくことを述べさせていただきます。それは、①健康社会学の定義の検討、②セミナー及び定例会の日本ヘルスプロモーション学会健康社会学研究部会との共同開催、③ニューズレターの電子媒体での配信、④会費制度の再考、⑤事務局の移設です。

まず①について、健康社会学とは何か、社会学ではなくなぜ健康社会学なのか、健康社会学の定義が構築されるプロセスを明確にしなが、研究会としての考え方を発信し続けていきたいと考えています。本研究会会員は研究職に限らず、学生、家族や住民としての立場、行政関係者、教育関係者、NPO関係者、事業所経営者等など、多岐にわたります。多岐にわたりながらも本会を通じて横の関係をつくることができているのは、私たち一人ひとりが「健康」という概念の共有を試み、ヘルスプロモーションの考え方とそれぞれの実践活動を行き来しようとしているからではないでしょうか。健康社会学はヘルスプロモーションの意義を浮き彫りにしていくものであると私自身理解しています。これからの本研究会の方向性を見定めるためにも、健康社会学の定義を発信していきたいと考えています。このようなことから、健康社会学とヘルスプロモーションの交流をより充実させるべく、②で述べていますように本研究会のセミナー・定例会と日本ヘルスプロモーション学会健康社会学研究部会を定期的に共同開催します。

運営面では③ニューズレターを電子媒体での配信に切り替え、事務局業務の軽減を図りながら、事務局体制を整備します。併せて④会費制度を再考し、年会費収入からイベント収入（セミナー・定例会参加費）に重心を移すことを考えています。このようなことも含め、⑤助友裕子委員（日本女子体育大学）には新事務局長として、新たに運営委員として加わった細川佳能委員（早稲田大学大学院）とともに事務局を担っていただきます。

併せて河村洋子委員（産業医科大学）、田村光平委員（町田市保健所）にも新運営委員として加わっていただくこととなりました。留任した池田康幸委員（三芳町）、上杉剛委員（三郷市）、齊藤恭平委員（東洋大学）、白子純子委員（鎌倉女子大学短期大学部）、高澤みどり委員（市原市）、そして杉田秀二郎副代表（文化学園大学）、松岡正純副代表（白井市）の12名で運営して参ります。12名はヘルスプロモーションや健康社会学はもとより、ヘルスコミュニケーション、地域歯科保健、公衆栄養、参加型アクションリサーチ、性の健康教育、健康心理学、健康なまちづくり、職業リハビリテーションなどを専門領域としております。ひとつの分野を掘り下げ、時には多岐に渡る分野を掛け合わせながら、本研究会をさらに発展させていきたいと考えております。

引き続き会員の皆様には、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2021年2月24日 代表 森川 洋

## 新運営委員紹介 2020年～ (代表・副代表以下、50音順)

### 森川 洋 (帝京平成大学現代ライフ学部人間文化学科) ◎代表

専門分野：健康社会学・ヘルスプロモーション・職業リハビリテーション

一般の人も専門家も語ることができる「健康」概念を、これからも大切にしたいと思っています。「働くということ」も健康を支えるキーワードであると考え、「障害のある人の働くことを支援する上での課題の共有」を研究テーマとしています。本研究会が、私も含めた一人ひとりの活動のための推進力になることを願っています。

### 杉田 秀二郎 (文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科) ○副代表

専門分野：健康心理学

引き続き副代表として、代表および研究会を支えていきたいと思っています。私の専門は健康心理学ですが、「健康」というキーワードを共通点として研究会に参加し、「健康な社会」の実現を目指しております。また、私見ですがヘルスプロモーションとは「健康の達成による幸福の実現」であり、健康社会は「健幸社会」につながるものとも思っています。他職種・他分野の人々が集うこの研究会は、一人ひとりの顔が見えるつながりを作ることができると思いますので、それぞれがネットワークを形成しながら健康社会に向けて進んでいきましょう！

### 松岡 正純 (白井市役所市民活動支援課) ○副代表

専門分野：健康なまちづくり (市民参加・協働、計画づくり、講座の企画・運営)

研究会には「健康」の様々な側面から研究・実践活動をしている多分野・多職種の人々が集っています。私は日常の生活の場となる「まち・地域」の中から健康な生活をどう創出していくかに関心を持っていますが、研究会での様々な人との出会いを通じ、職場では得られない新たな気づきやネットワークを培うことができました。皆さんも職場を飛び出し、研究会で様々な分野・職種の人たちとともに新たな一歩を踏み出していきましょう。

### 池田 康幸 (三芳町役場健康増進課)

専門分野：公衆栄養学

健康社会学を通じて様々な人と出会い、様々な議論を重ね、瞬く間に10数年の時間が経っていました。この場での学びから、ものごとや状況を広い視野で客観的に見られるようにと歩んで来ましたが、ゴールはまだまだ先のようです。何に気づき、何を考え、組織のなかでどう行動するのか。新たな一歩として皆さんと議論できればと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

### 上杉 剛 (三郷市役所健康推進課)

専門分野：ヘルスプロモーション、健康社会学、アクションリサーチ

伝統ある研究会の運営委員にご指名いただき大変光栄です。「健康な社会」の創造過程にある「調停」。市役所職員として、「どのように取り組んでいくか」が、私の大きなテーマです。研究会での多くの出会いや対話が、現在の考えの基盤になっています。会員の皆様との学びの共有、研究会の発展に、少しでも貢献できるよう頑張ります。

### 河村 洋子 (産業医科大学産業保健学部産業衛生科学科)

専門分野：ヘルスコミュニケーション、健康行動科学

今期から新たな運営委員として参加させていただくことになりました。私は、コミュニケーションは社会の血流だと考え、血行をよくして、個人と社会の健康度の向上をミッションにヘルスコミュニケーション研究や実践、教育活動に取り組んでいます。研究会がメンバーや周辺・関連を含む学際分野の血行を促進し元気にする役割を担うように、私も貢献していきたいと考えております。

### 齊藤 恭平 (東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科)

専門分野：健康社会学、ヘルスプロモーション

最古参の運営委員となりました。研究会も世代交代が進んで良いことだと思っています。古株の私としては余計な口は出さず、サポート役に徹します。健康社会学を名乗る国内唯一の学問的組織としての責任もありますから、皆さんで頑張っていきたいと思っています。研究会として健康社会学の学問的定義の必要もありますね。

### **白子 純子（鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科）**

専門分野：子どもの保健、健康教育

幼保小の教員養成校で子どもの保健に関わりながら、社会的養護下の子どもの「性」に関する健康教育を研究テーマに活動しています。研究に興味を持つきっかけになったのもこの研究会で出会う方々との繋がりや励ましのおかげ。今後も研究会でお会いする皆様とのご縁を大切にしながら、研究会の輪がさらに大きく広がるといいなと思っています。

### **助友 裕子（日本女子体育大学体育学部健康スポーツ学科）**

専門分野：ヘルスプロモーション

「社会が健康になる」をコンセプトに、その活動の担い手となる「人と人の間の有りよう」を研究テーマとしております。理論をもって行動する研究人を目指している私にとって、健康社会学研究会は最良の場です。今期より、事務局として多様なバックグラウンドの方々が出会う場づくりに貢献して参りたいと思います。

### **高澤 みどり（市原市役所）**

専門分野：地域歯科保健

歯科衛生士として行政に長年勤務してきましたが、健康なまちづくりに関する業務を主に担当しています。本研究から学んだこと、支援していただいたことは語りつくせないほどです。現在は、いちばん苦手な「研究」にも取り組んでいます。オンラインでも繋がることのできるようになりましたが、やっぱり会いたいし、一緒に飲みたいと願っている今日この頃です。今後は、何らかの形で恩返しをし、若手にバトンをつないでいきたいと思っています。

### **田村 光平（町田市保健所保健総務課）**

専門分野：予防歯科学、社会歯科学、地域歯科保健

今期より運営委員を拝命しました。大学での研究も魅力的なのですが、自分としては、公衆衛生の実践の場である保健所で、地域の人々がより健康になるための仕組みづくりを進めていきたいとの思いから、日々、理想と現実の間に挟まれながら、現場での業務に取り組んでいます。研究会での活動を通じて、多職種の方々からの新たな刺激を受けつつ、今後も精進していきたいと思っています。

### **細川 佳能（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科）**

専門分野：ヘルスプロモーション

目の前のことに一生懸命だった大学生の頃、健康社会学研究会は個人および地域が持つ多様なつながりに目を向けることの重要性を教えてくださいました。今後も定例会やセミナーを通じた新たな学びやご縁を大切に、社会を健康にするためのつながりを発見していきたいと思っています。そして、運営委員として研究会のさらなる発展に貢献できるよう精一杯努めて参ります。

## **事務局からの連絡**

### **◆研究会情報のメール配信**

現在、会員の皆様にはニューズレター等のメール配信を行っております。メールでの配信をご希望の場合は、事務局まで希望する配信先のメールアドレスにてご連絡ください。なお、紙媒体の郵送もご希望に応じて引き続き行います。

### **◆事務局移転のお知らせ**

この度、事務局が移転いたしました。新規会員へのおとりつなぎをはじめ、会員情報の変更等のご連絡は、こちらまでお願いいたします。

（新事務局）157-8565 東京都世田谷区北烏山 8-19-1 日本女子体育大学 助友裕子研究室内

TEL/FAX 03-3300-3216 メール healpro.info@gmail.com

健康社会学研究会事務局（担当：助友裕子、細川佳能）